

山内自治会だより

やまぢ

第90号

山内自治会発行

平成31年4月1日

☎933-4792

平成三十一年度山内自治会定期総会の開催について

陽春の候、会員の皆様には日頃からご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成三十一年度無事皆様方のご協力のもと、多くの事業や自治会内の保安灯増設や公民館ホールへのクレーン設置等、区民の皆様方が安心安全で過ごせるよう地域づくりに邁進してまいりました。

さて、当自治会では、左記の日程で平成三十一年度定期総会を開催いたします。

なお、ご都合により当日ご出席できない方は、ご足労ですが後日配布いたします委任状を当自治会へ提出して下さい。

日時：平成三十一年四月二十六日(金)午後六時三十分、場所：山内公民館ホール

- 議題：一、平成三十一年度行事報告について、二、平成三十一年度決算報告について、三、平成三十一年度行事計画(案)について、四、平成三十一年度予算(案)について

多くの方が参加した三七運動

去った三月三日(日)に三七運動を開催した。第一部は愛聖クリニックの中田安彦院長をお招きして「高血圧について」を講話していただきました。



「やまぢ」あれこれ ⑬ ヤマムムの話 ④

山内と諸見里は昔から柑橋と楊梅の産地として有名であった。

ヤマムム(楊梅)については経済的な面の新聞記事を紹介したい。「沖縄市史第八巻」近代期の新聞にみる歴史。下(昭和六三年刊・沖縄市教育委員会)の明治四五年四月六日の琉球新報の「柑橋と楊梅」の記事に村長比嘉健三郎氏(第二代村長・山内出身)の話を当時の諸見里の平均の収入源は、楊梅五円、柑橋四円で、当時一三五戸において、二一五円であった。

ちなみに、大正十二年の楊梅の産高は、諸見里が二、三五〇貫、一、〇九一円。山内が一、五〇〇貫、七三七円。一戸平均に見れば一円二二銭であった。

さらに、昭和七年発行の『越来尋常高等小学校創立五十周年記念誌』に山内の産物の記述がある。昭和六年期「産物ノ重ナル物ハ砂糖アルノミ、一般人民ハ甘糖(かいも)ヲ常食トス」とある。

さて、昭和初期当時の千円は、現在の貨幣価値では約二五〇万円に相当するそうです。山内においてはヤマムムは副収入としては大変な金額で、はなかつたでしょうか。

さて、ヤマムムは、主に女性の皆さんが収穫し、宜野湾の大山や真志喜の仲買人(ムムワイアングラー)に売り、貴重な副収入としての換金産物であり、大いに家庭を助けていたことを古くからよく聞かされた。

上述の「ダクシ草」について知っている情報があれば連絡ください。老友会だより 老友会のサークルや地域活動にぜひ参加を！

老友会は、三十年度も会員の皆さんいろいろな場で活躍されました。運動会、ボーリング大会などのスポーツや沖縄県民踊フェスティバルへの参加、さらに、地域の子供たちの安心安全のための見守り(交通安全指導、下校時の見守り等)、公園の草刈り、自分自身の健康増進等、本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。

さて、平成三十一年度もますます元気で自分自身ため、地域のため頑張ってください。なお、三線サークル・民踊サークル、ゲートボール、ゴルフ、公園清掃作業、子供の安全見守り等に参加できる方大募集中です。

生きがいデイサービス、三線サークル、県民踊フェスティバル、安全見守り

四月から山内地域をバスが通る！

四月一日から山内地域を沖縄市の循環バスが通ります。これまで、中心市街地を走っていたバスが、多くの市民の願いでバス運行空白地域にも運行することになり大変喜んでおります。

さて、山内地域は翔南病院前や公民館前、三丁目(屋号川平小前)、安立病院前にバス停ができません。料金も安く設定されています。

四月一日から、家庭ごみの分け方・出し方が一部変更になります。山内地域における変更は、ペットボトルが水曜日、紙が火曜日、燃やせないごみが水曜日、燃やせるごみが火曜日、燃やせないごみが水曜日、燃やせるごみが火曜日、燃やせないごみが水曜日、燃やせるごみが火曜日。

四月一日から、家庭ごみの分け方・出し方が一部変更になります。山内地域における変更は、ペットボトルが水曜日、紙が火曜日、燃やせないごみが水曜日、燃やせるごみが火曜日、燃やせないごみが水曜日、燃やせるごみが火曜日。



※字誌(山内の歴史書)を編集するため、古い写真(風景・人物など)・文書(もんじょ)資料等があれば自治会にご連絡下さい。

自治会に加入しませんか。自治会に加入して、安心して安全な住みよい地域を共に築いていきましょう。